

まごころ尾張

第二回総会日程ご案内

- ◆日時 平成7年4月15日(土)
午後1時～3時30分
- ◆場所 一宮スポーツ文化センター
3階 小ホール
- ◆テーマ 共に生きる暮らしをめざして
- ◆総会后 ふれあいコンサート

ふれあいコンサート 越智章仁さんの ピアノ演奏会

人はすべて精神的にまた肉体的に何らかの形でハンディを持ちながら共に暮らしています。越智さんはダウン症という重い病気をお持ちですが、その演奏は、自由で生命力溢れる素晴らしいものと伺っております。私達は優しさが求められる活動でありながら、忙しさにとりまぎれ大事なことを忘れかけていないでしょうか。越智さんが奏でられる音を通して、私達が失いかけているものに触れ合えればと思って企画致しました。是非多くの皆様とお誘い合わせのうえご参加下さい。

在宅療養を支援する

一宮市在宅療養支援システム事業

当センターも業務者として参加

一宮市に一宮市在宅療養支援システムという事業があります。在宅で療養される本人、家族をあらゆる立場から支援し、在宅療養生活が可能になるためのシステムです。

分野を越えて

医師、看護婦、保健婦、歯科医師、薬剤師、ソーシャルワーカー、ヘルパー等一宮市医師会と行政保健福祉関係者、病院や施設関係者等が同じテーブルで分野を越えた話し合いが行われています。

現場で実態を把握されている医療の立場から保健福祉への率直な意見が述べられたり又その逆もあったり、その場で一つの症例を在宅療養される本人や家族の立場にたって誰がどうかかわるかを検討されていきます。素晴らしい連携であり、私達市民にとってこれは画期的システムです。

厳しい在宅の現実

この度、このシステムの二冊目の事業実施報告書が出されました。

報告書の事例をみてみますと、在宅での寝たきり状態による療養は、体位交換、清拭、褥そう管理やリハビリ、鼻空栄養補給等複雑で、重症化や長期化しており、家族だけが抱えるのには相当困難な状況が報告されています。

不安に陥る

システムに加入することで、複数の分野の方による質の高い援助が受けられ、在宅療養が続けられているのがよく分かります。

また、報告書には、寝たきりの方への往診歯科診療の報告、在宅へ薬剤師訪問、また、難病の方の在宅での療養にもどうかかわれるか等システムの果たす役割が報告されています。

システムの完全なる連携を達成する目標に挑戦をはじめられたこの事業も既に六年を経過し、その間の努力は大変な事であったようですが、私達市民にとって心強いばかりです。

多くの患者や家族は、病院から退院した後の在宅での療養に一樣に不安をもっています。

しかし、このシステムを理解されれば在宅が安心して療養の場となることが分かっていただけでしょう。

みんな理解を

また、報告書の「主治医の活動」の中で、ある先生は「在宅療養支援システムを色々考えてみますとき、

3月の定例会は

3月6日(月) 午前10時～12時 思いやり会館

この日は、ケアはお休みです。事務所も午前中お休みです。利用会員さんご承知下さい。協力会員さんは必ずご出席下さい。

12月会員登録状況

協力会員	46人
利用会員	21人
賛助会員	106人
計	173人

12月活動状況

活動件数	8件
活動人数	12人
活動時間	83時間

◆◆◆ この度の阪神大震災で被災されました
多くの皆様に心からお見舞い申し上げます ◆◆◆

まごころサービス尾張センターも日本ケアシステム協会を通して心ばかりの義援金をお送り致しました

